

一般社団法人日本鉱物科学会
2023年度 定時社員総会 議事録

1. 開催日時：2024年9月13日（金）14：00～15：05
2. 開催場所：名古屋大学 東山キャンパス ES総合館 ESホール
（〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町）
3. 出席役員：（Z）：Zoom出席

会長（代表理事）：大和田 正明， 副会長（代表理事）：井上 徹

理事：

阿部 なつ江（富士原 なつ江），磯部 博志，池田 剛（Z），大藤 弘明，鍵 裕之，
亀井 淳志，川本 竜彦，河上 哲生，興野 純，栗林 貴弘，黒沢 正紀，高澤 栄一，
辻森 樹（Z），土屋 範芳，富岡 尚敬，永井 隆哉，永嶌 真理子，坂野 靖行，
M.Satish-Kumar（マドスーダン・サティッシュ・クマール），三宅 亮

監事：下林 典正（Z）

4. 議長：興野 純 理事
5. 議事録作成者：磯部 博志 理事
6. 報告事項

I. 2023年度（一般社団法人第8期）事業報告

（学会誌等発行事業，集会及び行事の開催事業，研究の奨励及び業績の表彰，学会諸事業）

II. 2024年度（一般社団法人第9期）事業計画書及び収支予算などの件

7. 決議事項

- I. 第1号議案 2023年度（一般社団法人第8期）事業報告承認，決算承認の件
- II. 第2号議案 役員（理事，監事）選任の件

8. 協定調印式

モンゴル資源地質学会と一般社団法人日本鉱物科学会との学術交流協定延長調印式

9. 授賞式

- 一、日本鉱物科学会賞授与
- 一、渡邊萬次郎賞授与
- 一、日本鉱物科学会論文賞授与
- 一、日本鉱物科学会研究奨励賞授与
- 一、日本鉱物科学会応用鉱物科学賞授与
- 一、JMPS学生論文賞授与

10. 議事の経過の要領及びその結果

- (1) 議長選出：定刻に至り、一般社団法人日本鉱物科学会大和田正明会長が、定款第15条により議長の選任について諮ったところ、興野 純 理事の推薦があり、満場一致をもって議長に選出された。
- (2) 開会宣言：興野議長が、本総会は現地開催を主として、テレビ会議システム(ZOOM：ズーム)を併用して開催する旨を述べ、社員(当法人の正会員又は名誉会員)のうちZOOMを使用するのオンライン出席者の通信状況(出席者全員の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等の適時的確な意見表明が互いにできる状態)が正常であることの確認とZOOM利用のお願いなどを再確認して、一般社団法人日本鉱物科学会2023年度定時総会の開会を宣言した。
- (3) 定足数の確認：興野議長により、定足数の確認および出席者数の確認が行われ、下記の定足数に足る社員の出席があったので、興野議長は議事に入った。

議決権のある社員数：846名

この議決権の総数：846個（定足数85人）

出席社員数：149名

（内訳）本人出席129人（会場112人＋ZOOM出席17人）

＋書面20人[代理人行使（19人）＋書面議決権行使（1人）]

この議決権の総数: 149個

- (4) 物故会員（吉永 真弓 永年会員，坂巻 幸雄 永年会員，樋口 康則 シニア会員）への黙祷がなされた。

報告事項

I. 2023年度（一般社団法人第8期 2023年8月1日～2024年7月31日）事業報告

大和田 正明 会長 挨拶

大和田正明会長より、挨拶と共に2023年度一般社団法人日本鉱物科学会の活動について次の通り概要の報告が行われた。

2023年度は一般社団法人日本鉱物科学会として第8期です。また、「コロナ禍」という言葉が聞かれなくなりつつあります。そうした中、ハイブリッドでの年会も定着してきました。今後はさらに多くの会員の皆様に参加しやすい年会を目指したいと思います。そして、年会の場を積極的に利用しつつ、鉱物科学の発展に貢献できる学会の地位を固めたいと思います。これからも、学会活動へご協力を心からお願い申し上げます。

さて、新たな事務局体制での学会運営のスタートから1年が経ちました。運営が軌道に乗るまでのこの間、皆様にご迷惑をお掛けしたことが多々あったと存じます。しかしながら、会員の皆様のご協力によって、まずスタートの1年がなんとか過ぎようとしています。今後も皆様からのご意見に耳を傾けて鉱物科学会の発展に尽力したいと考えています。

今年は新年早々の能登半島地震、梅雨時期とお盆時期の台風禍、さらには南海トラフ地震の想定震源域内での地震と自然の猛威の前に我々はさらされています。自然は我々の日常とは無関係に営まれています。そうした中、物質科学的側面から地球の姿を解き明かしてきた鉱物科学の発展が今後も期待されます。鉱物科学及びこれに関連する諸分野の学問の進歩と普及をはかることを目的とした当学会の真価がますます問われる状況にあると言えます。

本年の年会も、ハイブリッド型式を含めた発表形式で進みます。こうした運営方法によって多くの参加者を得て、活発な議論を展開できたことは、LOCの尽力と会員の皆様の協力の賜物です。学問と学会の発展に向かって前進できたことを嬉しく思います。改めて、開催にご尽力をいただいた皆様に深く感謝申し上げます。

本会の運営は、引き続き厳しい状況であることは間違いありませんが、この間、執行部、理事は、学会事業の見直しを検討してきました。その結果、財政の健全化をはかりつつ学術活動に専念できる体制を整え、会員の皆様や社会に貢献する活気を取り戻す道筋が見えてきたと思います。引き続き皆様の積極的な参加をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

次いで、2023年度第3回定例理事会(2024年8月24日開催)において2023年度事業報告として承認された下記個別事業報告について、会長が各業務を一任している各担当者から総会資料に基づき報告説明がなされた（総会資料参照）。

1. 和文誌（岩石鉱物科学）、英文誌（Journal of Mineralogical and Petrological Sciences）、その他の電子版による発行事業
 - (1) 和文誌（岩石鉱物科学）編集報告（高澤和文誌編集幹事・理事）
 - (2) 英文誌（JMPS）編集報告（M. Satish-Kumar英文誌編集幹事・理事）
2. 総会、講演会、研究部会、その他学術に関する集会及び行事の開催事業
 - (1) 行事報告・年会報告（片山行事幹事）
 - (2) 広報報告（大藤広報幹事・理事）
 - (3) 渉外報告（永畠渉外幹事・理事）
 - (3) Elements報告（瀬戸Elements幹事）
3. 研究の奨励及び業績の表彰（磯部庶務幹事・理事）
 - (1) 2023年度日本鉱物科学会賞表彰
 - (2) 渡邊萬次郎賞表彰

- (3) 2023年度日本鉱物科学会論文賞表彰
- (4) 2023年度日本鉱物科学会研究奨励賞表彰
- (5) 2023年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞表彰
- (6) 2023年度JMPS学生論文賞受賞論文表彰
- (7) 2023年年会研究発表優秀賞表彰

4. その他本会の目的を達成するために必要な事業

- (1) 庶務報告（磯部庶務幹事・理事）
- (2) 将来企画委員会報告（井上委員長・副会長）
- (3) JpGU 2023年学会選出プログラム委員報告（西原委員長）
- (4) 学術会議・IMA小委員会報告（土屋学術会議連携会員）
- (5) 教育普及委員会報告（林信太郎委員長）
- (6) 博物館委員会報告（坂野委員長・理事）
- (7) 地惑連合報告（阿部連絡担当委員・理事）
- (8) 会員報告（阿部会員幹事・理事）

Ⅱ. 2024年度（一般社団法人第9期）事業計画書及び収支予算案などの件

1. 大和田会長により、2023年度第3回定例理事会（2024年8月24日開催）において承認された2024年度事業計画が紹介された。

編集事業：岩石鉱物科学，Journal of Mineralogical and Petrological Sciencesの発行

行事事業：2025年年会（山口大学）の開催と2024年度定時社員総会の開催，一般普及講演，各賞の表彰事業

その他本会の目的を達成するために必要な事業

また，大和田会長から，「この1年間，執行部，理事は，学会事業の見直しを検討し，事務局と役員業務の改革を検討し，会員の皆様にお示ししました．第9期では，新執行部，理事，幹事により学会事業の見直しをさらに進め，学術活動に専念できる体制を固め，会員のみならず，社会にも貢献する体制を拡充して参りたい．」との報告があった．

2. 富岡会計幹事により，同じく第3回定例理事会にて承認された2024年度収支予算書について定時総会資料に基づいて紹介された．

その他

その他の報告は無かった．

決議事項

I. 第1号議案 2024年度（一般社団法人第9期）事業報告，決算承認の件 （大和田会長 説明：富岡会計幹事，監査報告：下林監事）

1. 富岡会計幹事から，2023年度（一般社団法人第8期）貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）及びこれらの財務諸表に対する注記，附属証明書について，配布資料に基づいて説明がなされた。
2. 下林監事から，総会招集通知の監査報告書に記載の通り，会計，事業，理事の業務に関し，いずれも適正に執行されていることが確認された旨，監査報告書が読み上げられ報告された。
3. 議長により，これらについて諮ったところ，反対，保留はなく社員の賛成多数をもって承認可決された。

II. 第2号議案 役員（理事，監事）選任の件（選挙管理委員会 遠藤俊祐委員）

選挙管理委員会遠藤俊祐委員から，次期役員（理事，監事）選挙の経緯と結果の説明がなされた。

議長により，配布資料に基づき，下記理事候補者22名，理事次点候補者1名，監事候補者1名について，一人ずつ氏名を読み上げながら社員に諮ったところ，それぞれについて社員の賛成多数をもって承認可決された。

選任された以下の役員はいずれもその就任を承諾する旨の意思を表明した。

理事(22名)：井上 徹，中村 美千彦，秋澤 紀克，安東 淳一，大藤 弘明，鍵 裕之，片山 郁夫，河上 哲生，栗林 貴弘，黒沢 正紀，佐久間 博，瀬戸 雄介，DAS Kaushik (ダス カウシク)，辻森 樹，土屋 旬，富岡 尚敬，永嶌 真理子，中野 伸彦，M. Satish-Kumar (マドスーダン・サティッシュ・クマール)，三河内 岳，森下 知晃，芳川 雅子（柴田 雅子）

監事(1名)：永井 隆哉

理事次点(1名)：阿依 アヒマディ

閉 会

以上をもって、テレビ会議システム（ZOOM）を併用した本総会は終始異常無くすべての議事を終了し，議長は15時5分に閉会を宣した。

上記の議事の要領及び結果を明確にするため，この議事録を作成し，定款第18条第2項に規定されている総会に出席した正会員より選出された議事録署名人（1名以上）が次に記名，押印する。

令和6年9月13日

一般社団法人日本鉱物科学会 2023年度定時社員総会

理事 磯部 博志 印

(配布時押印省略)

協定調印式

モンゴル資源地質学会と一般社団法人日本鉱物科学会との学術交流協定延長調印式が挙行された。

授賞式

各賞選考委員会による選考理由が会場にて紹介されるとともに磯部庶務幹事より受賞者が紹介された。大和田会長が賞状を読み上げ、記念品とともに各受賞者へ授与された。

一、2023年度日本鉱物科学会賞授与

第29回受賞者：橘 省吾 会員（東京大学大学院理学系研究科宇宙惑星科学機構）
業績題目：「初期太陽系における惑星材料物質の化学進化に関する実験的研究」

第30回受賞者：土屋 範芳 会員（八戸工業高等専門学校）
業績題目：「岩石—水相互作用に関する研究」

一、渡邊萬次郎賞授与

第40回受賞者：松原 聰 会員

一、2023年度日本鉱物科学会論文賞

第27回受賞論文

Title: Petrogenesis of Oligocene to Miocene volcanic rocks from the Toyama basin of the SW Japan arc: Temporal change of arc volcanism during the back-arc spreading in the Japan Sea. 118:026 (2023)

Authors: Raiki Yamada, Toshiro Takahashi, Yasuhiro Ogita

受賞者：山田 来樹 会員，高橋 俊郎 会員，小北 康弘 会員

一、2023年度日本鉱物科学会研究奨励賞授与

第35回受賞者：石井 貴之 会員（岡山大学惑星物質研究所）
研究対象：「高温高压実験技術の開発とマントル鉱物の相平衡関係・結晶化学の研究」

第36回受賞者：松本 恵 会員（東北大学理学研究科）
研究対象：「放射光X線CTと電子顕微鏡による始原的隕石・地球外リターンサンプル試料分析」

一、2023年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞授与

第16回受賞者：上杉 健太郎 氏（公益財団法人高輝度光科学研究センター）
業績題目：「SPring-8における放射光を用いたX線CT装置をはじめとするX線イメージング装置の開発と鉱物科学への応用」

一、2023年度JMPS学生論文賞授与

第17回受賞論文：Petrogenesis of Oligocene to Miocene volcanic rocks from the Toyama basin of the SW Japan arc: Temporal change of arc volcanism during the back-arc spreading in the Japan Sea. JMPS v.118, 026,(26p.) 2023
Authors: Raiki YAMADA, Toshiro TAKAHASHI, Yasuhiro OGITA
受賞者：山田 来樹 会員（投稿時：新潟大学 D3）